

DAITO BUNKA
UNIVERSITY

経済大国・中国の過去・現在・将来

岡本信広


6月1日
ERINA
第2回賛助会セミナー



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

メッセージ

- 中国経済の奇跡と矛盾を生んだのは誰なのか？
- 政府



DAITO BUNKA UNIVERSITY

成果と矛盾


成果	矛盾
世界第二位の経済大国	世界105位の経済水準
世界第一位の輸出大国	過酷な労働環境
世界第一位の外貨準備高	人民元管理
外国資本の導入	国産技術
豊かな都市生活	貧しい農村
発展する沿海	取り残される内陸
高い経済成長率	資源と環境への負担
有人宇宙技術、TD-LTE	山寨携帯や兼容機パソコン
世界第四位の特許出願数	パクリ



DAITO BUNKA UNIVERSITY

レコードチャイナ


- 2012年1月30日、米誌フォーブス電子版は、記事「中国は巨神なのか、それとも流星なのか」を掲載した。
- 近年、中国の未来が注目を集めている。間違いなく米国を抜き去ると考えている人もあれば、国内の矛盾で崩壊すると考える人もいる。また欧米の金融危機が中国の超大国のイメージを浸食しつつあるとの意見もある。
- 今後、中国がさらなる成長を続けていくためには多くの問題を解決しなければならない。第一に貧困。国際通貨基金（IMF）によると、中国の1人当たりの国内総生産（GDP）は世界94位という低水準だ。
- 第二に環境汚染。工業廃水の3分の1は未処理のまま捨てられている。欧米の大気汚染基準に合致した空気の下で暮らせるのは、5億6000万人の都市住民のうちわずか1%だという。そして高齢化も深刻で、2020年には60歳以上人口が17%に達するという。
- また国内市場の未成熟、さらには「不誠実な文化」と批判されたこともあったモラルも問題だろう。中国に進出した外資系企業はさまざまな障害で身動きがとれないうちに、中国企業に追い抜かれていく。また二セ卵、メラミン粉ミルク、慈善機構の不祥事などのニュースが後を絶たない。（翻訳・編集/KT）



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

中国モデル

- 東アジアモデル（世銀1994）
↓
- ワシントンコンセンサス（IMF，新自由主義）
↓
- 北京コンセンサス（金融危機以降）




DAITO BUNKA
UNIVERSITY

中国モデル

- (1) 共産党独裁下での公有制を土台
- (2) 市場原理の導入
- (3) 外国資本や技術の導入


- 政府の積極的関与が経済運営に有益！



DAITO BUNKA UNIVERSITY

反論

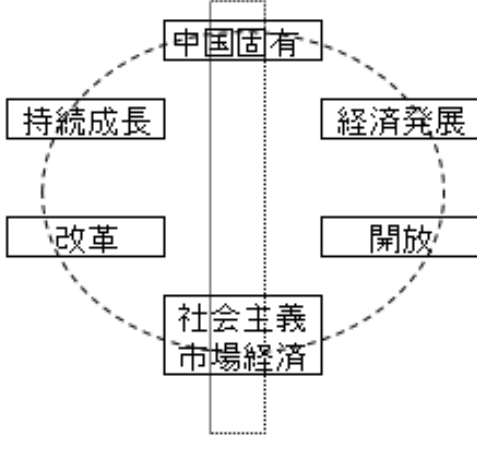
- 吳敬璉
 - 計画経済時代は？
→非効率
- 何清漣
 - 政府が国家の資源を独占
→格差
- 「中国政府は経済的奇跡の推進者であり、社会矛盾の製造者である。」



DAITO BUNKA UNIVERSITY

多面性と政府

多面的中国



中国固有


持続成長

経済発展

改革

開放

社会主義市場経済



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

社会主義市場経済

- 1949～1978
 - 政府による資源配分
- 1979～1992
 - 漸進主義的改革（請負と特区）
- 1992以降
 - 「南巡講話」市場経済化
- 2002年胡錦濤政権
 - 「和諧社会」左傾化？（Naughton2011）



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

経済発展（発展是硬道理）

- 1978まで
 - 重工業化
 - 強蓄積モデル
- 1978以降
 - 軽工業（労働集約）
 - 外資導入

→ 政府の退出



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

移行経済（改革）

- 1992以前
 - 請負制，他の所有制との競争
- 1992以降
 - 所有制改革，八大領域以外からの撤退
- →政府の退出



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

開放経済（開放）

- 2001以前
 - 特区方式
 - 2001以降
 - 経済統合（ASEAN, HK, MACAU, 台）
 - 人民元
 - 国内金融政策VS人民元（資本移動自由化）
- 政府主導（ルール） 政府退出（経済活動）



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

持続成長（和諧社会）

- 農民工と都市住民
 - 農民工の権益→戸籍
- 沿海地域と内陸地域
 - 協調発展政策
- 経済社会と環境・資源
 - 拘束性目標と排出（水利）権取引

→政府の関与



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

中国固有の問題 （中国有特色的社会主義）

- 退出できるのか??
- 戸籍制度
 - 農民工VS都市化
- 計画生育
 - 人口ボーナスVSオーナス
- 一党独裁
 - 意志決定の一極化VS多極化
 - コースの定理

公有制は人の管理と政権維持に必要??



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

公有制と政権

- 公有制
 - 生産要素（労働，資本，土地）
- 「労働」を管理する
 - →政権維持



DAITO BUNKA
UNIVERSITY

市場経済化に対する政府の攻防

- 市場経済VS政府
- 政府独占が「関係」（コネ）を生む。
- 「中国政府は経済的奇跡の推進者であり，社会矛盾の製造者である。」



DAITO BUNKA UNIVERSITY

過去・現在・未来

80年代	90年代	2000年代	将来
趙紫陽	朱鎔基	胡錦濤・温家宝	習近平 王岐山or李克強
市場の導入	市場の制度化	市場の失敗	??
農業・工業改革	財政・金融改革	社会保障	??
請負, 双軌制など 個別ルール	ルールの統一	ルール介入	??
郷鎮企業など競争 促進	国有企業改革	一部産業での国有 企業独占	??

退出or関与?



DAITO BUNKA UNIVERSITY

メッセージ

- 中国経済の成果と矛盾
- 政府の役割
- 退出→成長 関与→矛盾

